

2026年4月1日

各 位

株式会社 大垣共立銀行

CO₂フリー電気を全面導入 ～カーボンニュートラルに向けた取り組みを加速～



大垣共立銀行（頭取 林 敬治）は2026年4月から、中部電力ミライズ株式会社から直接供給を受けている電気の全量を「CO₂フリー電気」(*)に順次切り替えます。

本件により、年間約4,590tのCO₂排出量削減が見込め、OKBグループでサステナビリティ長期KPIとして設定している「2030年度までにCO₂排出量（Scope 1、2）を75%削減（2013年度比）」について、2026年度中に前倒して達成する見込みとなりました。引き続き、2050年度までにカーボンニュートラルを達成すべく、CO₂排出量の削減に積極的に取り組んでいきます。

OKB大垣共立銀行はこれからも、グループ一体となって再生可能エネルギーの利用による環境負荷低減を進めるとともに、お客さまへの脱炭素サポートやサステナブルファイナンスなどの提供を通じ、地域のカーボンニュートラルに貢献してまいります。

(*) 発電時にCO₂を排出しない再生可能エネルギー電源に由来するCO₂フリー価値付きの電気

■概要

導入時期	2026年4月から順次切り替え
導入対象	中部電力ミライズ株式会社から電気を直接供給されているOKB大垣共立銀行の店舗（岐阜県・愛知県・三重県） ・滋賀県内の店舗についてはすでにCO ₂ フリー電気を導入しています
CO ₂ 排出量削減効果	年間約4,590t ・2026年度には、CO ₂ 排出量が2013年度比で約78%削減となる見込みです

以 上

